

経営体の概要

- ・所在地：北海道士幌町
- ・取組主体名：士幌町農業協同組合
- ・栽培作物・作付面積：馬鈴しょ 5,201ha
(平成31年目標面積・5JA合算面積)

導入技術

- ・GNSS自動操舵装置
(株)ニコン・トリンプル製、(株)トプコン製) 122台
 - ・貯蔵庫自動管理システム(ズコー事務(株)製)
- スマホ、タブレットを活用し複数貯蔵庫の管理が可能。データ化することで共有が可能となり、管理技術の簡易化。



●GNSS自動操舵装置装着トラクター



※貯蔵庫管理システムイメージ



●貯蔵庫自動管理システム

導入経緯

- 馬鈴しょの生産は高齢化、労働力不足が課題となり、経験や勘に頼る貯蔵管理にも限界がきていた。
- このため、平成28年に品質管理の徹底及び省力化を目的に貯蔵庫自動管理システム、平成29年に農業者のほ場作業の軽減を目的に自動操舵装置を導入した。

取組の特徴・効果

【自動操舵装置】

- 士幌町では平成25年にRTK基地局を設置。翌年にはネット配信システムを導入し、無料配信を開始(現在150台)。その後近隣JAからの要望を受け、複数基地局の補正信号を委託管理・ネット配信のできる「RTKネットワーク」の開発により、誰でも利用可能な環境を整備。
- 平成29年に産地パワーアップ事業を活用し、士幌町及び広域連携している近隣4JAの馬鈴しょ生産者に対して、GNSS自動操舵装置を計122台導入。

- これにより、播種、収穫等の作業に要する労働時間・コストを削減したほか、収量・品質の向上の効果も確認。また、作業受託用もGNSS自動操舵装置を導入することで、コントラクターの作業軽減、後継者育成にも寄与。

【貯蔵庫自動管理システム】

- 平成28年に士幌町農業協同組合の馬鈴しょ管理貯蔵庫に自動管理システムを導入し、「貯蔵庫の見える化」を実現。スマホやタブレットを利用した複数貯蔵庫のタイムリーかつ一元的な管理が可能となり、品質のリスクマネジメントへの活用が可能となった。また、管理をシステム化することで、貯蔵管理担当者の後継者育成にも効果を確認。